

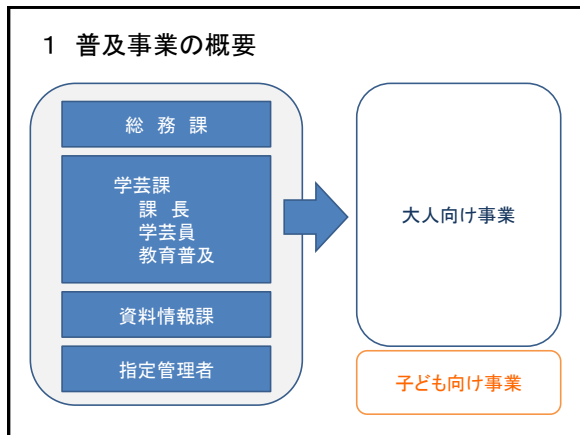
### 山梨県立文学館

学校のよりよい利用形態にむけて



- 1 普及事業の概要
- 2 学校との連携
- 3 これから

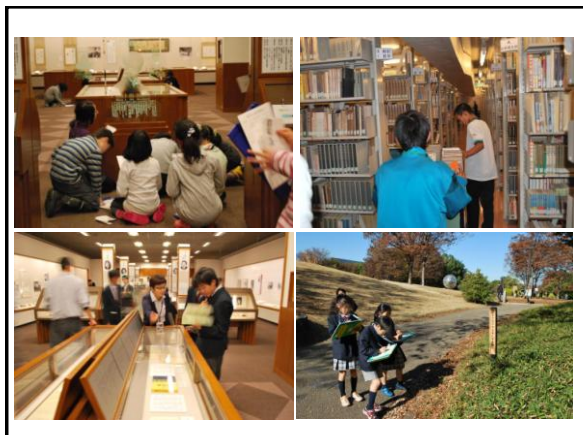
H24.9.27 第2回ミュージアム・エドゥケーター研修 山梨県立文学館 学芸課・主任教育主事 古川 順子




- ・年間文学講座
- ・企画展関連事業
- ・名作映画鑑賞会
- ・朗読鑑賞会
- ・山梨の文学散歩
- ・教師のための学習会
- ・文学創作教室



- ・文学教室(出張)
- ・子ども作映画会
- ・お話の森朗読会
- ・子どもワークショップ
- ・常設展クイズ
- ・企画展チャレンジクイズ
- ・教育普及用資料
- ・学習資料の貸与




『わたしは 読書家?』シート

『わたしは 読書家?』シート

『わたしは 読書家?』シート

『わたしは 読書家?』シート

### 文学館のむずかしさ

・文字資料が主であること

あらかじめ文学作品を読んでいること、  
ある程度作家について知っていることが前提

敷居の高さ

・博物館と学校との関係

子どもが独力で来館できない  
校外学習の困難

➡ いかに克服するか？

### 博学連携への期待

・新学習指導要領

国語科・・・伝統や文化に関する教育の充実  
総合的な学習の時間

・・・博物館との連携、地域の教材や学習  
環境の積極的な活用などの工夫

➡ 学校でできること、文学館でできること

### 2 学校との連携

#### 移動文学館の実施



平成23年より実施

- ・深沢七郎パネル実績(半年間)  
14校約8000人
- ・石川啄木パネル実績(～9月)  
16校約7000人

#### 移動文学館を利用した授業実践



山梨大学付属中学校での活用例

春日居中学校での活用例

#### 移動文学館の図書館での活用



- 一宮中学校図書通信1
- 一宮中学校図書通信2
- 昭和高校図書館通信



#### 移動文学館の実施によって得られたこと

・学校との対話

- ・郷土の作家・教科書に載っている作家への潜在的な需要
- ・文学館に求められること

・文学館の思い

- ・遠方地域の学生へのアピール
- ・文学館資料の広域活用

2 学校との連携 子どもワークショップ



授業とのなめらかな連携

・新しい教科書

- 小学校6年生の教科書に狂言「柿山伏」
- 中学校1年生の教科書に古典落語
- 2年生の教科書に能・狂言
- 3年生の教科書に歌舞伎・浄瑠璃  
(いずれも光村図書)



・学校の外へ

- 小中学校を対象とした朗読シアターの実施(12月)
- 高校生を対象とした創作教室(2月)

3 これから

